

道路

放置自転車対策

加藤俊彦議員(公明) 花小金井駅、小平駅等周辺での放置自転車の実態は、バイクの撤去保管台数とその後処理状況は、自転車利用者への利用指導等を行っているがその効果は、放置禁止区域指定を拡大する自転車対策の強化の効果は、今後の放置自転車対策について市の考えは、

市長 花小金井駅243台、小平駅338台である。バイクは118台を撤去し98台を返還等している。利用者の抑制意識が生じ、放置自転車等が減少傾向にある。駅周辺における放置自転車等が減少している。レンタサイクル等の自転車の有効活用を研究していきたい。



小平駅北口の放置自転車

だれにでも安全で便利な歩道への改善・整備を

佐藤 充議員(共産) 視覚障害者が利用しやすいよう、小平駅南口の横断歩道のメロデー



メロデーの鳴る信号機(小平駅南口)

注意指導を業者等に対し、徹底させるべきかと思うがどうか。

違反屋外広告物除却協力員事業の設置検討をするのも一考察であると思うがどうか。

市長 東京都屋外広告物条例に基づき許可を受けていない広告塔、張り紙等である。所有者等に撤去の指導を行い、道路パトロール等で発見したものは即時撤去等をしている。罰則強化を都に要請し、また注意指導を徹底していきたい。今後、検討していきたい。

都市整備

都営バス梅70のあり方

齋藤 敦議員(フオ) 都営バス梅70系統の負担金の算定根拠、計算式はどうなっているか。バスのおくれをどうとらえているか。中継点を設けることで効率運行を図れないか。

非公式な連絡会的な会合があると聞いているが、その議題は何か。他市の意向はどうか。

市長 営業実績を基準として、赤字分の3分の1を都、3分の2を小平市・青梅市等の5市1町が負担している。各自自治体の負担金は、運行距離や乗降客の状況に応じて計算している。天神町、花小金井等の付近で渋滞する箇所がある。路線を分けて運行しても渋滞の影響を受けるので、メリットは少ないと考える。

小川西町二丁目の公立学校

佐野都夫議員(政和) 小川西町の職業能力開発総合高等学校、東京校等の3つの学校の、地域への開放状況は、

2校のグラウンドはいつと避難場所であるが、住民への

小川西町地区の都市計画道路と市道の整備

石塚信治議員(政和) 府中街道までの都市計画道路3・4・10号線の実現に向けて、目標をどこに置いているか。

3・4・21号線と3・4・10号線が交差するよう、早期に施行すべきと考えるがどうか。

富士見通り(市道第A30号線)を拡幅できないか。

小川西町土地区画整理区域の南側西武線沿いの道路が行きどまりになっているが、延伸させる必要があると考えるがどうか。

市長 府中街道までの整備が必要と認識しているが、当面は3・4・21号線までの整備を

府中街道の西武拝島線高架化

齋藤 敦議員(フオ) 府中街道の渋滞は、八坂交差点の渋滞によるところが大きいと思うが、この地域の渋滞についてどう分析しているか。

西武拝島線高架化の工事について、総費用はどの程度か。ほかの踏切での高架化の要望はあるか。

市長 府中街道の交通量が多

緑の町が壊されようとしていく宅地開発

華表 曉議員(共産) 御幸町の都民銀行グラウンド跡地、上水南町の沖電気グラウンド跡地等の宅地開発について、市の姿勢は。開発指図書案に基づく指導の状況はどうか。

まちづくり懇話会への市民の参加状況や、意見はどのようなものであったか。

市長 要綱に基づき市に帰属される公共施設の管理について協議、指導を行っているが、現在の要綱のみでは限界も感じており、宅地開発の事前届け出の新たなルール等を検討している。第三次長期総合計画策定に伴いまちづくり懇話会を開催し、3日間で26人の参加があった。計画策定と市民参加の仕組み等についての意見や提案があった。

まちづくり条例の制定に向けて

齋藤 進議員(フオ) 条例の制定、建築物の高さ制限の都市計画決定までの、市民への周知や意見集約等はどうするのか。

条例は大規模な土地利用に関する事前届け出制度が主となりそうだが、罰則規定の盛り込みを考慮しているか。また市民発意による地区計画のサポートなど、まちづくりの根幹にかかわるものを条例に盛り込めないか。

原 邦彦議員(公明) 中高

中高層建築物の建設には事前協議の義務づけを

津本裕子議員(公明) 音楽療法の現行の取り組みから今後の課題

津本裕子議員(公明) 音楽療法に対する認識は、音楽療法に取り組んでいる療育者の資格・立場は、近隣の取り組みは、今後、さらに進めるべきと

地区の範囲について、理想は。その際、既存建築物との高度差の整合性をどうとらえるか。

市長 条例案は議会で審議してもらおう。都市計画案の策定は、市報や説明会等で周知に努め、市民からも意見を寄せてもらい、理解を得ながら進めていきたい。罰則規定は慎重に取り扱う必要がある。地区計画のサポート等の規定は研究課題としたい。

既存建築物の現状を把握するとともに、他市の例も参考にしながら検討を重ねていく。

環境共生住宅で緑豊かなまちづくりを

苗村洋子議員(緑) 日本長期信用銀行グラウンド跡地を民間都市開発推進機構が取得して5年になるが、市から機構にどのような働きかけをしたか。

今後どうなるのか。

市長 住宅開発が避けられないとすれば、環境共生住宅となるよう、働きかけや情報提供などの支援をすべきと思うがどうか。手法としてはコーポラティブハウスを提案するがどうか。

市長 平成15年7月に、機構と後継銀行である新生銀行に出向き現状や課題について聞いた。採算に見合う開発等は難しいのが現状であると聞いている。打診したところ、将来の土地利用に制約をかける条件は受け入れがたいとの回答だった。今後、こつした手法の動向を注視していきたい。

母子健康手帳の表紙を改善できないか

石塚信治議員(政和) 妊娠とわかると母子健康手帳が交付される。この表紙を、もう少し親しみの持てる文字や絵柄のデザインに変えてほしいとの声が多いが、変えられないか。

市長 母子健康手帳は、妊娠の届けを提出した人全員に交付している。厚生労働省令で定められた各種記録欄の様式を備えた既製の手帳を購入しており、その選定については、表紙よりも内容を吟味して採用している。今後は、表紙も含め検討していきたい。

音楽療法の現行の取り組みから今後の課題

津本裕子議員(公明) 音楽療法の現行の取り組みから今後の課題

津本裕子議員(公明) 音楽療法の現行の取り組みから今後の課題



現行の母子健康手帳